opusdei.org

広報室からの手紙

映画「ダ・ヴィンチ・コード」に対して皆様に伝えたいこと。

2006/04/06

ソニー株式会社

株主、役員、従業員の方々を始め関 係する皆様

拝 啓 皆様ますますご健勝のことと お喜び申し上げます。

ソニー製作の映画ダ・ヴィンチ・ コードが5月に封切りされることを 控え、オプス・デイ広報室より皆様にお伝えしたいことがございます。なお、この手紙は論争するためではなく、日本発の伝統ある企業に関係する皆様に、以下の情報を提供するためにお届けするものです。

さて、この映画に関連して、「オプ ス・デイ | が話題にのぼっているの をご存じかもしれません。おそら く、多くの方にとっては、カトリッ ク教会の一組織であるオプス・デイ という名前を聞くのは初めてであ り、どんな組織であるのかと疑問に 思われた方もあったことでしょう。 それゆえ、オプス・デイを知りたい 方に正確な情報を提供する用意があ ること、小説ダ・ヴィンチ・コード が描くオプス・デイの姿とは無関係 であることをお伝えする必要がある と考えました。

情報をお望みの方はどなたでも、広 報室までご連絡をください。喜ん で、可能な限り迅速に、お応え致します。日本語を含む各国語ウェブサイト(www.opusdei.org)には、カトリック教会に属するこの組織にて関するさまずまな情報が掲載されてもます。オプス・デイの中心メット教信仰に生きるためのふご理り、ということをでしょう。

ご存じのように、小説ダ・ヴィンチ・コードは、カトリック教会とその創設者イエス・キリストを、荒唐 無稽な姿で描いており、キリオをの宗教的信条を傷つけています。出ていまり、カトリック教会はのに、カトリック教会はのに、カトリック教会はは、たいまな人々をひきつけておくたと、加罪と暴力的な手段を用いてきたと、小説は主張しています。

この小説は、現実と虚構のないまぜ であり、どこまでが事実で、どこか らが空想なのか区別できません。 従って、カトリック教会の歴史をあまりご存じない読者が、誤った結論 に導かれ、カトリック教会への共感 を感じなくなるおそれもあるでしょ う。

あらゆる企業は、物的資産のみならず、従業員への待遇や環境へのの尊重などのでは、人権のでは、企業の無形の価値を持って会は、企業のでは、利潤追求の価値は、企業に対する周囲の評価になるは、企業に対する周囲の評価になるに対する周囲の保障とします。また安定性の保障として、株式市場で経済的価値としていくものです。

無形の価値の中で重要なことの一つは、人々の信条に敬意を払うことです。そして、社会的責任には、上記の敬意を払うという行為が含まれています。多国籍、多文化にまたがっ

て動く大企業なら、特に注意して、 この責任を果たす必要があるのでは ないでしょうか。

この映画の製作に関わる人々によるいつくかの表明を拝見し、この映画の製作に関わる人をによりの表明を拝見し、このを傷力により、視聴者の宗教的感情を殺したいる世界をよりいっそうかいるとを承知しております。とを承知した敬意を払おうとと文化が良くありたいると考えます。

いくつかのメディアは、「この映画 はフィクションであり、現実を想定 させるものが万一あったとしてもしている偶然にすぎません」という内容の声明をソニーが映画のと めに入れることを検討していると報 じています。ソニーがこの意思決定 をなさることで、イエス・キリスト の姿や教会の歴史、視聴者の宗教的 信条に敬意をあらわすことができる と考えます。

最後に、残念ながら、現代は、復讐 や憎しみ、暴力のために神の名を持 ち出す世の中です。まさにそうであ るからこそ、平和的な態度を堅持し たいと思います。これこそカトリッ ク教会の心であり、カトリック信者 の望むところです。

万一、失礼な表現があれば、お許しください。皆様の今後の繁栄とご多幸をお祈りいたします。

取り急ぎ、お知らせまで。 敬 具オプス・デイ広報室(日本)

稲畑誠三

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/

guang-bao-shi-karanoshou-zhi/(2025/10/29)